

61 タバコのアブラムシ飛来予測確立試験

福島県たばこ試験場・平成8～12年度試験成績概要

- 1 部門名 特用作物－タバコ－病害虫防除 分類コード 06-01-23000000
- 2 担当者 吉岡邦雄
- 3 要旨

黄斑えそ病防除の基礎データを得るためタバコのアブラムシの飛来状況を調査し、黄斑えそ病発生との関連を検討した。

- (1) 黄斑えそ病の原因となるアブラムシの飛来状況を98年から3年間調査した。飛来数は、飛来急増期(飛来数が継続して増加する時期)の目安になる760日度(1月1日を起算日として0度以上の気温の積算値が760になる時期)に達する数日前から継続的に増加した。
- (2) 県内の黄斑えそ病発生面積割合は、近年減少傾向にあり、飛来急増期(760日度に達する時期)の早晚との関係は、判然としなかった。
- (3) 葉タバコのアブラムシ寄生虫数は、殺虫剤を植付前に粒剤で施用し、6月10日と6月25日に茎葉散布することで低く抑えることができた。しかし、アブラムシ寄生虫数を低く抑えても、黄斑えそ病の発病株率は10%となり、無防除の19%に比べ大幅に低くすることはできなかった。
- (4) 以上のことから、760日度前後にアブラムシの飛来数が継続的に増加するため、この時期を目安とし、アブラムシの飛来初期から防除を徹底することにより、黄斑えそ病対策を効率的に実施できる。